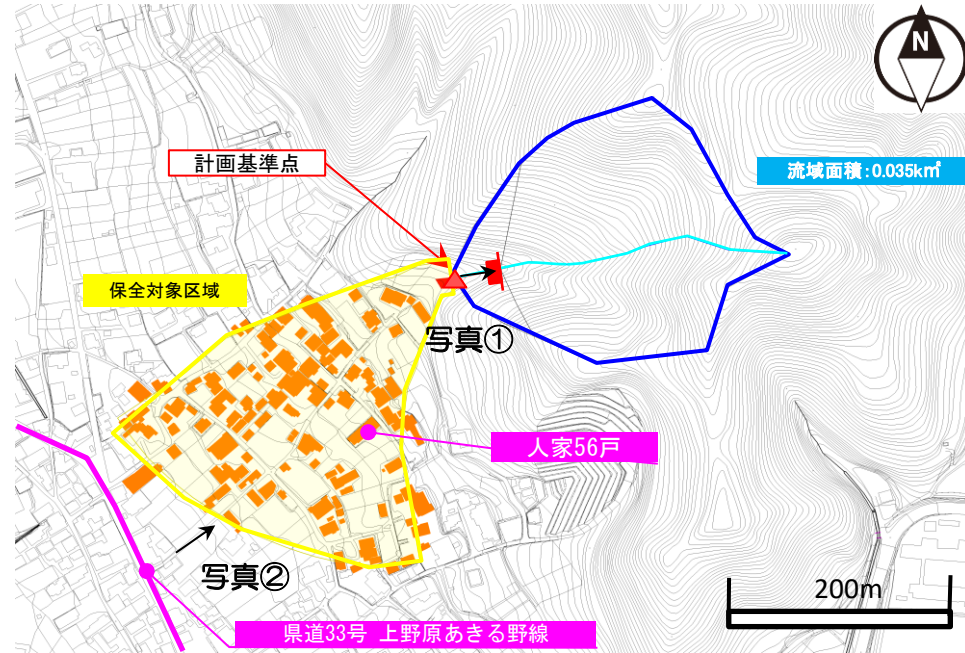


1. 事業説明シート

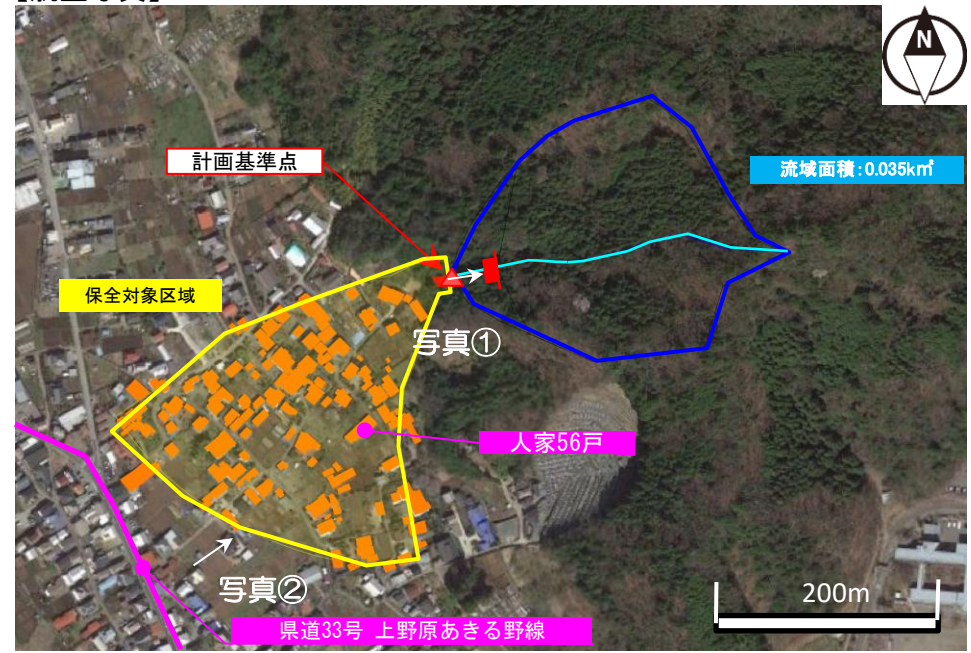
<b>事業名</b>	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	<b>事業箇所</b>	上野原市西原	<b>地区名</b>	水窪沢 (ミズクボサワ)	<b>事業主体</b>	山梨県	
<b>(1) 事業の概要</b> ①課題・背景 本溪流は、流域面積0.035km <sup>2</sup> の土石流危険溪流であり土石流災害警戒区域に指定されている。渓床勾配は1/2.4と急勾配で、不安定土砂が堆積しており、台風や集中豪雨時には土石流発生の危険が高まっている。また、砂防施設が未整備であり、保全対象には人家56戸、市道950mが存在しているため、土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす可能性がある。このため、砂防施設を早急に設置し、土石流災害を未然に防止する必要がある。  ②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 0% < 70%未済※ ・重要公共施設の有無 無 (保全対象=人家56戸、市道950m)  ※評価基準値  □副次目標 - □副次効果 -				<b>(3) 事業の妥当性評価</b>				妥当    妥当でない
				①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当				<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>
③経済妥当性				<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>		④事業実施・規模の妥当性 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である		<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>
				⑤整備手法の有効性 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした		<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	⑥環境負荷等への配慮 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮	
<b>(2) 整備内容と整備量</b> ①整備内容 小規模溪流向け杭式土石流・流木対策工 1基 H=10.0m L=43.4m  ②着手年度    令和7年度                      ③完成見込年度    令和11年度  ④総事業費    約190百万円 (国費95百万円(5/10)県費95百万円(5/10))  ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和7年度    詳細測量、詳細設計、地質調査                      20 百万円 令和8年度    用地測量、用地調査、用地取得・補償                      20 百万円 令和9~11年度 砂防堰堤工事                                              150 百万円				⑦事業計画の熟度 地元の要望に基づいている		<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>	<b>総合評価</b> [貢献度ランク: b]	
				⑦事業計画の熟度 地元の要望に基づいている		<input type="radio"/> <input type="checkbox"/>		
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				<b>(4) 事業位置図等</b>				
⑥既整備内容・期間・事業費 ・なし								

## 2. 添付資料シート

【流域概要図】



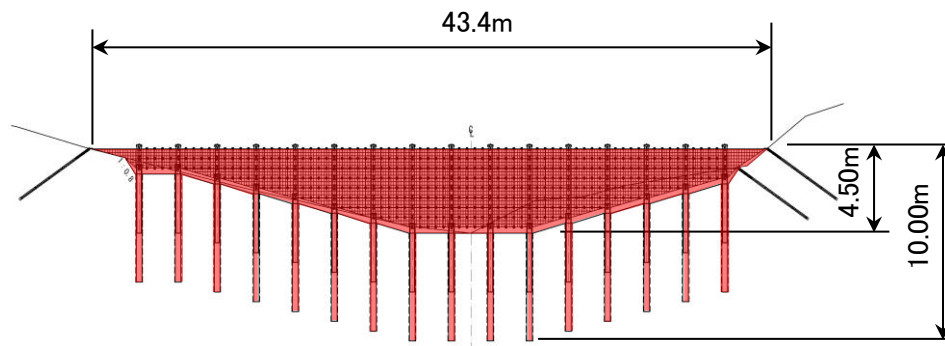
【航空写真】



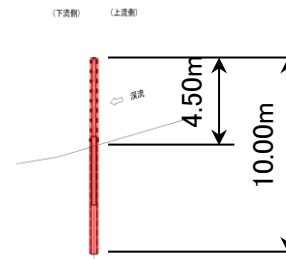
【凡例】

- 計画砂防堰堤
- 流域境界
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- ▲ 計画基準点

【正面図】



【側面図】



① 荒廃状況



② 保全対象(全域)

